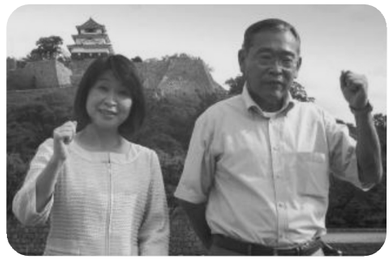
2025丸亀市議選 直前インタビュー②

【1面から】ための国民自身が『野党は協力して政策を実現しろ』という声を上げ、運動や世論を盛り上げていく必要がある。ご一緒に声を上げていきましょう」と呼びかけました。そのほかに9条の会かがわの十河浩二事務局長、社民党香川県連合の成合美範副幹事長、新日本婦人の会香川県本部の小早川加代子会長がリレートークをしました。



4月13日告示、20日投開票の丸亀市議選を目前に、日本共産党の現職の中谷まゆみ丸亀市議、新人のささい孝志氏にインタビューしました。（中谷、笹井の表記、インタビュー中敬称略・全2回後編）

Q4）今年4月の丸亀市議選の主な争点は何でしょうか。また、どのように丸亀市議選をたたかいますか。

中谷】世論調査で「9割が生活苦しい」と答えたように、いま一番市民と話して「お困りごとはないですか」と言ったら「物価高騰をなんとかしてくれ」という声が多いです。市民の暮らしからすれば、国政、市政と何かが分かれているわけでなく、みんな一緒です。

笹井】たしかに「とにかく農家が農業をして食べていけるようしてくれ」とか言われます。一方で、国政が歪んでしまったときには市政が市民のための防波堤になるのかっていう話も私は大事だと思います。例えば、国の農政がおかしければ、農家の離農防止に田んぼの面積に対応して給付金などの支援をした。市政としては率先してこういう政策をしていくべきと**【3面につづく】**

「戒厳令」と緊急事態条項（2）

9条の会・かがわ　事務局

自民党が打ち出した「改憲4項目」の中心は、「9条に自衛隊明記」と「緊急事態条項の創設」です。自民・公明・維新・国民・有志の会の改憲5党は、このうち「緊急事態条項」の「緊急時における議員任期の延長」を先行して行うことで一致しかけていました。しかし岸田前首相が退陣直前に「9条に自衛隊明記」と「緊急事態における政令発出」で意見をまとめるよう号令したことで、自民党は本来の改憲策動に戻った形です、この「緊急事態における政令発出」は、自民党案では「大地震その他の異常かつ大規模な災害により、国会による法律の制定を待ついとまがないと認める…ときは、内閣は、…国民の生命、身体及び財産を保護するため、政令を制定することができる」とするものです。ちなみに自民党が二〇一二年にまとめた「憲法改正草案」では、「緊急事態の宣言が発せられたときは、…内閣は法律と同一の効力を有する政令を制定することができるほか、内閣総理大臣は財政上必要な支出その他の処分を行い、地方自治体の長に対して必要な指示をすることができる」としています。

日本国憲法のもとでは、基本的人権は「公共の福祉」でしか制約することはできず、それゆえ人権を制約することは国民の代表である国会が制定する「法律」でしかできません。内閣が独断で人権を制限することはできないのです。ところが自民党案は内閣が制定する「政令」が「法律と同一の効力」つまり人権を制限しうる強制力を持つとしているのです。これは国会が持つ立法権を内閣が握ることを意味し、韓国憲法が七十六条で「法律の効力を有する命令を発する権限」を大統領に与えていることと同じです。

改憲勢力の言う「緊急事態条項の創設」は、韓国大統領が持っているのと同じ権限を政府・首相に与えようとするものです。ちなみに「戒厳規定」を持つ明治憲法には、天皇の「緊急勅令」の発令や、戦時・国家事変の際の天皇大権の施行など、天皇制政府に対し緊急時に立法権を与える規定がさまざまに盛り込まれ、国民弾圧の暗黒政治に活用され、侵略戦争への道を突き進むことになりました。

【2面から】思います。**中谷】**丸亀市議選の、大きなテーマは物価高騰から暮らしを守ること。暮らし応援を市政の真ん中に。私は「子育て」「移動手段」「災害時」の「3つの安心」という政策でたたかいます。例えば、国保税を下げ、それと高齢者がずっと住めるように、買い物や病院に行けるように、「高齢者の足をつくれ」ということです。コミュニティバスを便利にするとか、タクシーチケットを配るとかの対策が考えられます。ほかにも待機児童が年度末には200人も出ます。建物があっても保育士がいないという話なので、保育士をきちんと雇って、早期の待機児童解消が必要です。もちろん観光も大切ですが、いま本当に必要なのは物価高騰で苦しむ市民の暮らしを最優先した政策ではないでしょうか。

Q5）市政と国政の関連はなにですか。また、現在丸亀市で日本共産党の議席は1議席ですが具体的に2議席になればどのように丸亀市政がどう変わりますか。

笹井】そもそも、暮らしにお金を使うか、減税するとかの話も、国政の大本の大軍拡を直さないと根本的な問題は解決しません。農業を大事にしないこと自体も、戦争になったらごはんが食べられず国民が飢える。食料自給率が38％のまま戦争の準備ばかりするのはおかしい。

中谷】このような状況でミサイルなんていらないですよね。外国から「食料はあげない」と言われたらもう白旗を上げるしかない。この情勢で、政治は大企業を優先し日米安保でアメリカの顔色をうかがう。この2つの矛盾を抱えたままでは国民の暮らしは良くなることは決してないですよね。

中谷】議席数に関してですが、丸亀市では2議席から会派になります。もちろん2議席になれば、具体的に市民の願いを変える力が大きくなります。具体的には、2議席になったら議案提案権があるので、国保税の引き下げなどの条例改正の提案ができて、何よりも共産党の姿が見えるようになります。今は1議席。会派でないので代表**【4面につづく】**

勇気りんりんエッセイ

参議院比例予定候補　白川よう子

「もしかして、あれが馬毛島？」などと独り言を口にしながら、沖縄に向かう空の上で書いています。通常国会も始まり、来年度予算案で9兆円に手が届くような軍事費の反面で、高額療養費の自己負担の引き上げなども大問題です。

私も病院に勤めていたので「高額療養費は命綱」という思いを実体験として持っています。今、オンライン署名などで、がんや難病患者・家族の切実な声を届けたいと、患者団体などの皆さんが緊急署名やアンケートに取り組んでいます。その中で20代の女性、がん患者の声を紹介します。「スキルス胃がん患者です。小さな子どもがおり、この子を遺して死ねません。高額療養費制度を使っていますが、支払いは苦しいです。家族に申し訳ないです。引き上げされることを知り泣きました。スキルス胃がんは治らないみたいです。私はいずれ死ぬのでしょうが、子どものために少しでも長く生きたい。毎月さらに多くの医療費を支払うことはできません。死ぬことを受け入れ、子どもの将来のためにお金を少しでも残す方がいいのか追い詰められています。」

大軍拡には9兆円も注ぎ込みながら、命を守る制度は切り捨てる。なにより命と思っている私にとっても、これは決して許される問題ではありません。医療費の負担が命の重さと天秤にかけられて、それをおかしいとも思わない政治は異常です。生きることをあきらめなくていい社会へ、国民の連帯で政治を変えるしかありません。